

令和7年度

東伏見小学校

地域とともにある学校づくり

第5学年

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名：「下野谷遺跡 PR 大使になろう」
(活動名)

ねらい：自分たちの住む町の下野谷遺跡について、現地調査や資料、インターネット等を活用して調べ、下野谷遺跡の魅力をもPRする活動を通して、下野谷遺跡の保存に携わる人の思いや地域の願いに気づき、地域のために自分にできることを考えることができる。



【5月29日】

学芸員の方から話を聞きながら、下野谷遺跡公園を見学しました。復元された住居に関することや、出土したもの、当時の暮らしの様子などについて教えてもらいました。



【10月5日】の「したのや縄文の里 秋まつり」や【12月21日】の「下野谷遺跡国史跡指定記念シンポジウム」に有志の子が参加し、下野谷遺跡のPR活動に取り組みました。



【12月15日】

年間を通じて調べてきたことを、グループごとにテーマを決めてまとめました。



相手に下野谷遺跡の魅力が伝わるように、表現の方法を工夫しました。



【2月21日】

「下野谷遺跡 PR 大使」として、土曜公開日に来校した保護者や地域の方々に向けて、発表会を行いました。

お互いの発表を聞き合うことで、地域への思いを深められました。

まとめ

5月に実施した下野谷遺跡の見学では、竪穴住居に入ったり土器だまりを見たりしながら、社会教育課の方々から詳しい説明を聞くことができました。関心も高まり、意欲をもって調べ学習に望む児童が多かった。縄文時代の人々のくらしのこと、下野谷遺跡の貴重性など、調べたことについて詳しく理解し、その魅力をそれぞれが再発見し、地域への愛着も深まった。